

平成 21 年 9 月 1 日

(参考資料)

住友信託銀行株式会社

国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI) 不動産ワーキンググループ (PWG) の
「責任ある不動産投資」手引集発刊について

住友信託銀行株式会社（取締役社長 常陰 均）は、国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI) 不動産ワーキンググループ (PWG) のメンバーとして、持続可能な開発を促進する不動産金融ー「責任ある不動産投資 (Responsible Property Investment)」を普及するための活動に参画しています。今般、当社は、この PWG に設けられたメディア・チームのメンバーとして、PWG の活動を日本国内に広報する役割を与えられました。今回はその第 1 回目として、下記内容をお知らせ申し上げます。

記

「国連は、責任ある不動産投資 (Responsible Property Investment) を促進する行動に出ます。」

(ジュネーブ国連本部より、2009 年 8 月 19 日発表)

責任ある投資行動は、世界中の多くの投資家にとって、喫緊の課題となりつつあります。しかし、投資家の多くは責任ある不動産投資 (RPI) を実践するための最善の方法は何か、はっきりと理解できていない状況にあります。

RPI の考え方を進展させて世界的に実践していくために、国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI) の不動産ワーキンググループ (PWG) は、投資家が RPI 原則を理解し適用する手助けとして、一連の手引き作成を進めており、今回はその第一集を公表しました。

ポール・マクナマラ博士 (UNEP FI PWG 共同議長、英国 PRUPIM リサーチヘッド) のコメント：

「不動産投資家が積極的に行動を起こし、不動産の保有や運営によって引き起こされる気候変動のような、重大な ESG (環境・社会・ガバナンス) 問題に立ち向かおうとしている傾向が明らかとなりつつあります。」

「しかしながら、多くの投資家にとっての疑問点は、『我々は、何から、どのように始めたら良いのか?』ということです。PWG が作成中の一連の手引きは、投資プロセスの全ての

局面にわたって、どのように RPI 原則を適用するのが最善かを教えるように設計されています。」

「この最初の手引き『Committing and Engaging (約束と関わり合い)』は、ケーススタディを用いて、組織が RPI を制度化するための確固たる基盤を置くにあたり必要となる 7 つの主要なステップを明確にしています。これらのステップには、組織にとっての RPI の意味と価値を理解すること、重要なリスクと機会を明らかにすること、成功を成し遂げて評価すること、RPI を発達させ主流のものとするためにステークホルダーと協働することなどが含まれています。

ポール・クレメンツ・ハント氏 (UNEP FI ヘッド) はこのように述べています：

「商業ベースでの不動産の投資や開発は、誰もがその役割を演じる必要のあるチームゲームです。これはあらゆる種類の資産にわたって、責任ある投資を行うことにも当てはまります。この一連の手引きは、投資家が如何に責任をもって行動し、それぞれの不動産資産における ESG のリスクと機会に先行して立ち向かうことにより、金銭的、名聲的そして競争的価値をどのように得ていくかを示す青写真です。」

PWG は、RPI を「環境・社会・ガバナンス (ESG) 問題に立ち向かうための、法律上の最低限の要求を超えた不動産投資・運営戦略」と定義しています。

『Committing and Engaging (約束と関わり合い)』手引きは、ボストン・カレッジ責任投資研究所とアリゾナ大学の共同プロジェクトである責任不動産投資センターとの提携のもとで、PWG によって公表されました。

国連環境計画金融イニシアティブ不動産ワーキンググループ (UNEP FI PWG) について UNEP FI PWG は、環境・社会・ガバナンスの配慮事項を不動産ファイナンスに取り込む行動を主流のものにしていくために協働する、金融機関の世界的プラットフォームです。日本では住友信託銀行と三菱 UFJ 信託銀行がメンバーになっております。

なお、今回お知らせしました手引き『Committing and Engaging (約束と関わり合い)』の日本語版につきましては、住友信託銀行環境不動産ホームページの「アーカイブス」コーナー (URL アドレス下記) に掲示しており、近日中に UNEPFI のホームページにも掲示される予定です。

<http://www.sumitomotrust.co.jp/csr/innovation/real-estate/06.html>

以上